

No.	見直し 種別	計画の 記載頁	所管課	事業名	見直しが必要な 理由、趣旨等	計画の記載内容		算定根拠・備考など
						見直し前	見直し後	
1	(1)	64	保育こども園課 教育総務課	教育・保育の量の 確保	令和3年4月1日時点の支給認定区分 ごとの子どもの実績値が、計画における 量の見込みよりも10%以上のかい離が あり、原則として見直しが必要となっ ているため。	表4-1 教育・保育の量の見込みと 確保量 資料2-3のとおり	表4-1 教育・保育の量の見込みと 確保量 資料2-3のとおり	資料2-4のとおり
2	(2)	24	こども家庭 支援課	(4)特定不妊治療 費助成及び不育症 治療費助成	令和4年4月から不妊治療が保険適用を 受け、県助成申請が令和5年3月で終了 となる。県事業終了に合わせ、本助成 金も終了するため。	特定不妊治療に要した治療費のう ち、・・・ ・・・0～2件で推移しています。	特定不妊治療に要した治療費のう ち、・・・ ・・・0～2件で推移しています。 なお、特定不妊治療費助成について は、令和4年4月から医療保険適用に なったことから、助成を終了しました。	
3	(2)	34	こども家庭 支援課	(4)不妊・不育に 悩む夫婦に対する 支援の充実	令和4年4月から不妊治療が保険適用を 受け、県助成申請が令和5年3月で終了 となる。県事業終了に合わせ、本助成 金も終了するため。	取り組みの方向性 妊娠を望み、特定不妊治療・・・ 経済的負担の軽減を図ります。	取り組みの方向性 妊娠を望み、特定不妊治療・・・ 経済的負担の軽減を図ります。 なお、特定不妊治療費助成について は、令和4年4月から医療保険適用に なったことから、助成を終了しました。	
4	(2)	71	子育て総務 課	子育て短期支援事 業(ショートステイ 事業、トワイライト ステイ事業)	市内に本事業が実施できる児童養護施 設等がなく、近隣市町の施設での受入 れ体制や代替事業など、引き続き慎重 に検討する必要がある、事業の開始時 期を見直すため。	確保量(単位:人日) 令和5年度(推計値)366	確保量(単位:人日) 令和5年度(推計値) 0	近隣市町の児童養護施設と調整を図るなど事業の実現可能性を探ってい るが、現状では事業の実施は最短でも令和6年度以降となる見込みである ため。
5	(2)	77	こども育成課	放課後児童健全育 成事業	「児童ホームと子ども教室の一体的運 営」を令和2年10月から試行実施してい たが、利用実績や効果等の検証結果を 踏まえ、令和4年3月をもって事業を終 了したため。	確保方策・方向性 ・児童ホームと放課後子ども教室の一 体的な運営について、小学校の余裕 教室等の活用を踏まえながら、実施に 向けて検討していきます。	(削除)	
6	(3)	68	こども家庭 支援課	妊婦健康診査(妊 婦健康診査費用助 成事業)	見込量の根拠としていた将来推計人口 について、本計画後に策定された秦野 市総合計画に基づいた値に見直したた め。	見込量(単位:回) 令和5年度(推計値)9,670 令和6年度(推計値)9,445	見込量(単位:回) 令和5年度(推計値) 9,036 令和6年度(推計値) 8,760	令和3年度実績値から、0歳児全数に対する出生数の割合に基づいて、令 和5・6年度の推計人口から出生数を算定。出生数＝受診者数とし、平均 受診回数(1人当たり12回)を掛けた数字を見込量とした。 「0歳児人口」897人／「年度内の出生数」793人＝88.4% 令和5年度 0歳児人口推計値852人×88.4%×12回＝ 9,036回 令和6年度 0歳児人口推計値826人×88.4%×12回＝ 8,760回
7	(3)	69	こども家庭 支援課	乳児家庭全戸訪問 事業	見込量の根拠としていた将来推計人口 について、本計画後に策定された秦野 市総合計画に基づいた値に見直したた め。	見込量(単位:人) 令和5年度(推計値)855 令和6年度(推計値)830	見込量(単位:人) 令和5年度(推計値) 753 令和6年度(推計値) 730	令和3年度実績値から、0歳児全数に対する出生数の割合を算定し、令和 5・6年度の出生数を算定し、出生数＝訪問数の見込量とした。 「0歳児人口」897人／「年度内の出生数」793人＝88.4% 令和5年度 0歳児人口推計値852人×88.4%＝ 753回 令和6年度 0歳児人口推計値826人×88.4%＝ 730回
8	(3)	72	子育て総務 課	子育て援助活動支 援事業(ファミリー・ サポート・センター 事業)	見込量の根拠のひとつである「将来推 計人口」について、本計画後に策定され た秦野市総合計画に基づいた値に見直 したため。	見込量(人日) 令和5年度 8,650 令和6年度 8,620	見込量(人日) 令和5年度 8,056 令和6年度 7,797	ファミリー・サポート・センターの対象となる年齢(0歳～12歳)の推計人口 について、令和3年度を100とした時の令和5・6年度の比率を、見込量の令 和3年度推計値に乗じて算出した。 令和5年度 8,634人×93.3%＝ 8,056人 令和6年度 8,634人×90.3%＝ 7,797人
9	(3)	77	こども育成課	放課後児童健全育 成事業	見込量の根拠のひとつである「教育・保 育の量の確保」における見込量につい て今回見直しを図るため、合わせて値を 見直すため。	見込量・確保量 資料2-5のとおり	見込量・確保量 資料2-5のとおり	資料2-5のとおり